

2018年度 株式会社大岸製作所 SR・環境報告



環境管理責任者 我妻

1. 環境改善計画結果

① 不良による仕損費を40%削減(16年度比)

活動サイト	16年度実績	目標値	実績	達成率	低減率
埼玉	636	382	140	273%	78%
飯豊	1,023	614	959	64%	6%
米沢	3,952	2,371	2,564	92%	35%
南陽	2,252	1,351	739	183%	67%
全社	7,863	4,718	4,403	107%	44%

② 社有車の燃費向上3%(16年度比)

活動サイト	16年度実績	目標値	実績	達成率
埼玉	23.0	23.7	22.2	94%
飯豊	9.8	10.1	12.2	121%
米沢	5.5	10.5	6.6	62%
南陽	21.2	11.8	12.3	104%
全社	10.1	10.4	11.0	106%

③ 塗料・溶剤使用量の3%削減 (16年度平均加工高比)

活動サイト	16年度実績	目標値	実績	達成率	低減率
埼玉	12.7	12.3	12.3	100%	3%
飯豊	8.2	8.0	6.2	129%	25%
米沢	34.1	33.1	27.8	119%	18%
南陽	34.2	33.2	25.4	131%	26%
全社	21.8	21.1	18.3	116%	16%

④ あいさつ運動(社内外を問わず、地域全体をコミュニティと考えあいさつ運動を展開し、地域との連帯を深め)

活動サイト	16年度実績	目標値	実績	達成率
埼玉	12.0	12.0	12.0	100%
飯豊	12.0	12.0	12.0	100%
米沢	12.0	12.0	12.0	100%
南陽	12.0	12.0	12.0	100%
全社	48.0	48.0	48.0	100%

⑤ 緑地の整備

(但し山形地区は冬季間は工場周辺の公道の除雪等を含む)

活動サイト	16年度実績	目標値	実績	達成率
埼玉	12.0	12.0	12.0	100%
飯豊	12.0	12.0	12.0	100%
米沢	12.0	12.0	12.0	100%
南陽	12.0	12.0	12.0	100%
全社	48.0	48.0	48.0	100%



19/2の米沢雪灯籠祭りの灯籠制作風景

2. エネルギー使用量(原油換算KJ)

活動サイト	16年度実績	17年度実績	18年度実績	増減率
埼玉	139	145	144	99%
飯豊	487	483	539	112%
米沢	316	339	392	116%
南陽	239	366	453	124%
物流	8	7	5	71%
全社	1,189	1,340	1,533	114%

3. 産業廃棄物

種類	16年度実績	17年度実績	18年度実績	増減率
特管オイル	4,296	3,992	3,794	95%
特管硫酸	66,000	51,800	79,500	153%
特管計	70,296	55,792	83,294	149%
一般M3	16,942	14,365	9,190	64%
一般kg	73,129	131,598	#####	114%

仕損費の達成率が全社で107%と低減されている。但し、飯豊と米沢は未達ではあるが、着実に減らしている。燃費については米沢は社有車の増加による目標値の変更、南陽は16年度実績が、実際との乖離がある為見直しを行った。全社では6%向上であるが、米沢は大きく下回っているため、省エネ運転への配慮を要す。塗料・溶剤については全社で16%低減され、今後も膜厚管理や蒸発防止処置への配慮を要す。各サイトとも花・野菜等の栽培で緑地化へ積極的であった。

エネルギー使用量は全社として前年比14%増であるが、加工費も前年比14%増である為、加工費比率でエネルギー使用量を比較しても0.5%の減となっている。埼玉だけが加工費比率でも減少させている。飯豊と米沢は加工費比率で4%悪化しています。大幅な省エネ処置が必要です。南陽は使用量的には24%のアップですが、加工費比率でみると14%向上しています。

特別管理のオイル(有機溶剤)は減少し、廃酸は53%の増量となった。一般廃棄物については、増加が見られるので廃棄物の減量が必要です。

株式会社大岸製作所SR・環境改善中期計画(2019~21年度)

No	区分	環境改善目標 (中長期)	基準年度実績		単年度目標と実績		
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
1	組織統治	BCPの策定と訓練の実施	策定無	目標	BCPの策定	BCPの訓練実施及び見直し	BCPの訓練実施及び見直し
2	人権	ハラスメント防止	具体的な対策なし	目標	ハラスメント防止規定の策定	防止教育に実施	防止教育に実施及び規定の見直し
3	労働慣行	法定内時間外労働時間(36協定内)の厳守	何名かの超過あり	目標	時間順守	19年度時間より1%削減	19年度時間より1%削減
4	公正な事業慣行	下請け法の理解・遵守	勉強会無し	目標	営業部員の教育	生産管理部員の教育	製造部管理者への教育
5	消費者課題	仕損費75%削減(全社) (16年度比)	2016年度実績 ¥7,863k	目標	仕損費50%Off(16年度比) ¥3,927 K	仕損費62.5%Off(16年度比) ¥3,027 K	仕損費75%Off(16年度比) ¥1,966 K
6	省エネルギー	社有車の効率利用 燃費6%向上(16年度比)	2016年度実績 10.1km/l	目標	10.5km/l	10.6km/l	10.7km/l
7	VOC削減	塗料・溶剤使用量6%削減(全社) (16年度加工高比)	2016年度実績 21.8kg/¥M	目標	21.7kg/¥M	21.3kg/¥M	20.9kg/¥M
8	コミュニティへの参画及びコミュニティ	コミュニケーションの活性化を図り、地域社会との共生	1回/月	目標	1回/月	1回/月	1回/月
9	環境啓発	環境啓発活動として、事業所周辺の清掃活動	1回/月	目標	1回/月	1回/月	1回/月

一昨年から、KESはステップ2SRとなり3年目に入ります。来年は中期計画の最終年でしたが、今年度から規約の変更があり、CSR(Corporate Social Responsibility=「企業の社会的責任」)の項目を増やすことになりましたので追加し18年度までの活動は更に2年間延長することとしました。また、この活動は企業(会社)だ「SDGs(エスディーゼーズ)」が2015年の国連で可決された「持続可能な開発目標」にも沿うものです。企業活動だけでなく、働く皆さんの個人生活上においても同様に社会規範に則った活動していただかなければ、達成できませんので御協力宜しくお願いいたします。